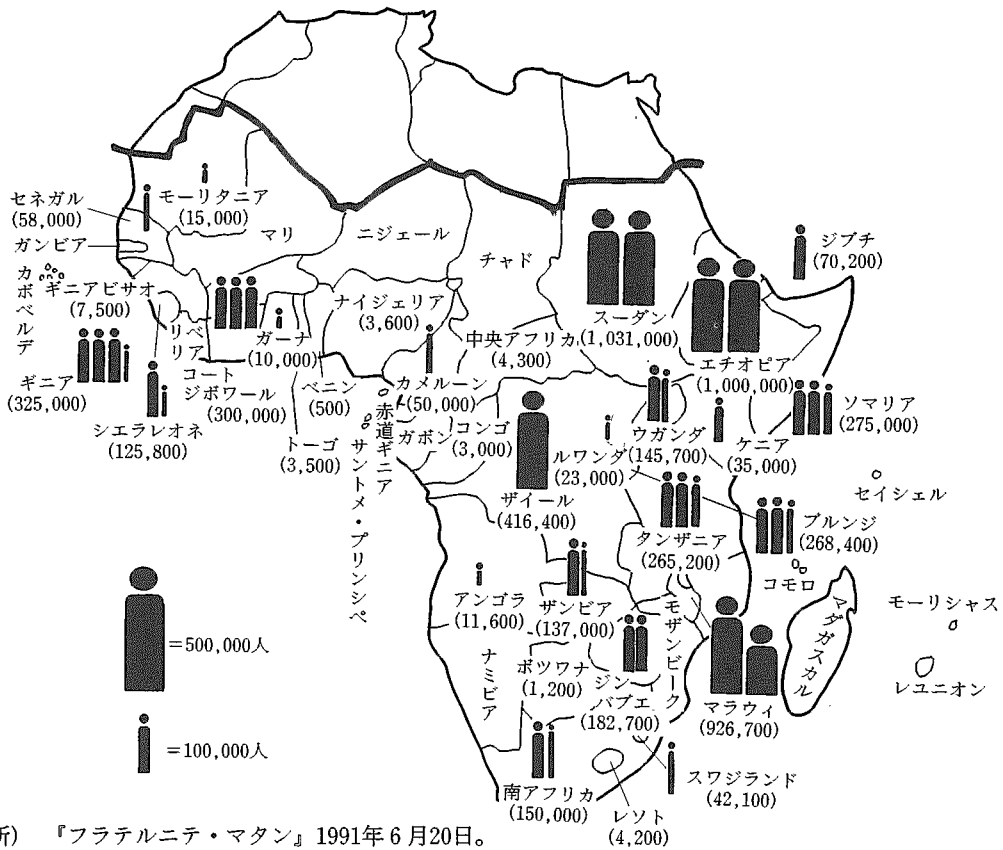


図解：アフリカの難民

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アフリカレポート
発行年	1991-09
出版者	アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00008611

図解：アフリカの難民

作成：佐藤由利江・石崎えり子（統計調査部）

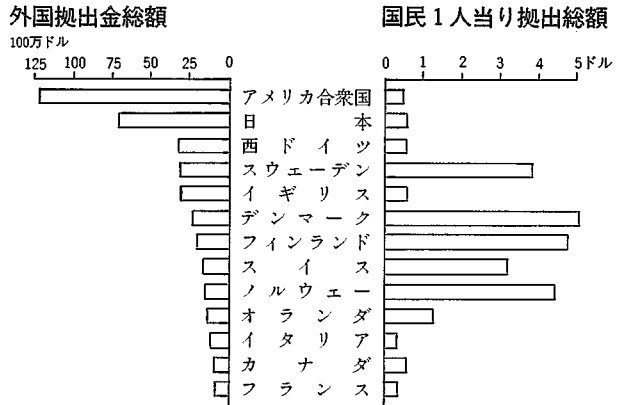


(出所) 『フラテルニテ・マタン』 1991年 6月20日。

地域別難民数 (1990年 1月 1日)

地域	(単位：人)
アジア	6,725,345
アフリカ	4,608,968
北米	1,447,177
ヨーロッパ	828,487
ラテンアメリカ	1,196,511
オセアニア	110,313
合計	14,916,801

主要国のUNHCRに対する拠出金 (1989年度)



(出所) 国連難民高等弁務官事務所『レフュジーズ』各号。

主な難民問題発生年表

1960年～	コンゴ動乱（現在ザイール、シャバ州）難民がスーダン、ウガンダ、アンゴラ、ザンビアへ。
1961年	アンゴラ北部で反乱。ザイールへの難民が激増。 ルワンダで部族対立。難民がタンザニア、ブルンジ、ウガンダ、ザイールへ。
1962年	エチオピアがエリトリアを併合。
1965年～	ローデシア一方的独立宣言。難民がモザンビーク、ザンビア、ボツワナへ。
1966年	ナミビア独立運動始まる。
1968年～	エチオピアからの難民がスーダンへ。 赤道ギニア、マシアマ大統領圧政。難民がガボン、カメルーンへ。
1969年	OAUがアフリカ難民条約を採択。
1971年～	ウガンダ、アミン大統領の圧政と政情不安。難民がケニア、タンザニア、ザイール、ルワンダへ。
1972年～	ブルンジで部族対立。難民がタンザニア、ルワンダ、ザイールへ。
1974年～	エリトリア紛争激化。難民がスーダンへ。
1975年	アンゴラ独立紛争（解放3組織の争い）。難民がザイール、ザンビアへ。 アンゴラ、モザンビーク独立。
1976年	南アフリカでソエト暴動。難民流出。
1977～78年	ザイール、シャバ州の紛争。難民がアンゴラ、ザンビアへ。
1977年～	エチオピア、オガデン地域でソマリア侵攻軍と戦闘開始。ソマリアへの難民が激増。
1979年 5月	アフリカ難民問題会議（アルーシャ）。
1980年～	チャド国内紛争。カメルーンへの難民が激増。
1981年 2月	第一回アフリカ難民救助国際会議（ICARA）開催（ジュネーブ）。
1983年 3月～	スーダンからの難民がエチオピアへ。
1984年～	モザンビークからの難民がマラウイ、スワジランドへ。
1984年 3月	南アフリカとモザンビークが不可侵条約締結。
7月	第二回アフリカ難民援助国際会議（ICARA）開催（ジュネーブ）
1984～85年	エチオピアで早魃により難民がスーダン、ソマリアへ。
1985年 6月	「ナミビア暫定政権」発足。
7月	南アフリカで黒人反政府運動が高揚。25年ぶりに非常事態宣言が発令。
1985年12月～	アンゴラ北部の紛争が激化。難民がザイールへ。 南アフリカで抗争激化。難民がレソトへ。レソト国内で南アフリカ政府が難民殺害。
1986年～	モザンビークで、政府軍と南ア共和国の支援を受けた反体制ゲリラ組織（MNR）との間で抗争が激化。難民がザンビア、ジンバブエへ。
1987年～	スーダン南部で内戦が激化。エチオピアへの難民が激増。
1988年～	ブルンジから難民がルワンダへ。 ソマリアで内戦が激化。難民がエチオピアへ。
1988年 8月	OAU主催、南部アフリカ難民・避難民・帰国民国際会議（SARRED）開催（オスロー）。
1989年 4月～	セネガルとモーリタニア間で国境紛争が発生。モーリタニアからの難民がセネガルへ。
12月	リベリアで内戦が激化。難民がコートジボワール、ギニア、シエラレオネへ。
1991年 5月～	エチオピアで内戦が激化。スーダン、ジブチ、ケニアへの難民が激増。

（出所）アフリカ協会『アフリカ年鑑 1985～86』；国連難民高等弁務官事務所『レフュジーズ』各号。